

平成25年  
10月1日から

適正化事業実施機関からの通報の在り方を改正し、悪質な違反は  
運輸支局に速報されます！！（平成25年3月29日付け自動車局課長通達）

適正化事業実施機関とは、貨物自動車運送に係る輸送の安全のため、事業者に対する巡回指導、広報啓発、安全性優良事業所（Gマーク事業所）の認定などを行う民間の機関です（法に基づき都道府県トラック協会が指定されています）。

従来、この機関が巡回指導において違反行為を確認した場合は、適正化事業指導員が改善指導を行い、事業者による改善措置を促すことを基本としていました。

平成25年10月1日からは、点呼を全く実施していない、運行管理者が全く存在していないなどの重大・悪質な法令違反状態を適正化事業指導員が確認した場合においては、運輸支局に速報するよう適正化事業実施機関に指示しました。

その他、下記の事例についても、運輸支局に通報するよう指示しています。

事業者におかれましては、この制度を理解した上で、法令を遵守し輸送の安全の確保に心がけて下さい。



## 運輸支局への通報

### 速報事案

裏面参照

速やかに通報

### 定期通報事案

- ① 巡回指導評価がEで、3月以内に適正化事業実施機関に対し改善報告が行われない営業所
- ② 巡回指導評価がEで、改善報告は行ったが一部に未改善が見られ、再度の巡回指導において当該違反の改善が見られない営業所
- ③ 巡回指導を拒否した営業所
- ④ 社会保険等未加入の営業所

巡回指導で確認  
したら定期通報

定期的に通報

### 相談事案

- ① 名義貸し、白トラ利用等悪質であり、かつ、構成要件該当性の判断が困難な法令違反について疑いが認められる営業所
- ② 記録の改ざんが疑われる営業所
- ③ 巡回指導評価がDで、3月以内に適正化事業実施機関に対し改善報告が行われない営業所

疑いが高い  
場合は即相談

定例会議で相談





## 速報事案の概要



### 【速報対象違反項目】

点呼を全く行っていない

運行管理者  
整備管理者  
が全くいない

定期点検を  
全く行っていない

### 【速報の具体的な要件】

- ① 点呼の実施記録が保存されていない
- ② 点呼の実施記録に係る帳簿に記録が全くされていない

- ① 選任されている運行管理者が全くいない
- ② 選任されている整備管理者が全くいない
- ※ それぞれの資格者がいても、法令に基づく届出がされていない場合は、速報の対象となります。

- ① 定期点検整備記録簿が保存されていない
- ② 定期点検整備記録簿に記録が全くされていない

速報

運  
輸  
支  
局

※ 「記録をしていないことは、実施をしていない疑いがある」と判断され、速報の対象となります。

